

1 単元名 わたしたちのまちの環境について提案しよう

2 単元目標

- 江津市や島根県等の環境について調べたり、体験したりすることを通して、環境を守ったり、よくしたりする工夫や努力があることに気付くことができる。(知識及び技能)
- 江津市や島根県等の環境の実態から課題を設定し、調べたり体験したりして得た情報をまとめたり、そこから自分で考えたことを提案したりすることができる。(思考力・判断力・表現力)
- 江津や島根県等の環境について、自ら課題を設定し、課題解決に向けて取り組むことができる。(主体的に取り組む態度)

3 図書館活用教育で身に付けたい力

課題設定・学習計画：学習課題の選択（思考ツール）

情報源の種類と特性・選択（図書・インターネット・人・現地調査・見学）

情報の収集：見学先でのメモの取り方

百科事典や国語辞典の活用

割り付けや見出しの付け方

インターネットの使い方

引用の仕方

情報の整理：集めた情報から必要な情報の取捨選択

まとめ方の選択（ポスターセッション・プレゼンテーション）

4 基盤（児童観省略）

- 新学習指導要領には、「探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。」とあり、「(1) 探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解するようにする」「(2) 実社会や実生活の中から問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。」「(3) 探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う」とされている。本校では、この目標達成のために期待する児童の姿として、「地域を愛し、夢を持って挑戦し続ける渡津っ子」と設定しており、第4学年として期待する児童の姿は、「江津市の環境について興味・関心を持ち、主体的・対話的に課題を解決する活動を通して、自己の考えを表現することができる子ども」とした。

本単元では、江津市や島根県、あるいは日本や世界が抱える環境問題や一般的に取り組まれている環境保全活動等について、児童それぞれの興味・関心に合わせて課題を決め、その課題ごとにグループを作り、調べ学習を行う活動を設定する。さらに、その問題を解決するための提案をすることをゴールにすることで、「主体的」で「対話的」な取り組みを図り、その提案を地域の方に発信

し、さらに追究していくことで「深い学び」へと迫りたい。

- 本単元の指導にあたっては、まず、江の川河口の実態調査を行い、課題を設定する。課題設定については、調査をしたことや、これまでの経験から気になることを思考ツール（ピラミッドチャート）を使って、絞り込んでいく。

課題解決には、協調学習（知識構成型ジグソー法）を用いる。その後、国語科「みんなで新聞をつくろう」「説明書と広告を読み比べよう」やN I E新聞教室で得た知識・技能を使って新聞に各自がまとめる。その後、調べた内容や新聞のトップ記事にした内容から、グループを再編成し、自分たちにできる問題解決策を考え、提案をする。提案にあたって、社会科見学でお世話になった企業局の方に来ていただき、ご意見をいただくことで、次の課題設定をしていきたい。ただし、この課題解決については、各自がそれぞれで行うこととする。

【主体的・対話的で深い学びの姿を求める取り組み】

① 図書館活用教育の充実

「情報収集、整理・分析」の過程において、事前にグループごとに課題を設定し、その課題について主に図書館での調べ学習を行う。図書館で調べたものは情報カードに整理していく。また、実地調査やインターネット等での活動も取り入れ、より詳しく調べる。また、まとめたり、発信したりする際に理解が不十分だったり、質問を予想して答えられそうにないものがあつたりすれば、もう一度図書資料やインターネット等を活用する。

② 教科横断的な調べ学習

主に、社会科「水はどこから」「ごみのしよりとゆくえ」の学習と関連付けて、「水」「ごみ」についても調べ学習を図書やインターネットを使って行い、そこで得た知識を本単元にも活用する。また、それぞれの単元で見学にも出かけ、実際に見たり聞いたりする活動も行う。

また、国語科「みんなで新聞をつくろう」や「わたしが考えたこと」「広告と説明書のちがいで学習したことを、まとめたり、提案発表したりする際に生かす。

③ 個人・グループ・全体の思考場面の設定

まず、全体で、実態調査から江津市が抱える環境問題を予想する。次に、予想された問題から、一人一人が興味・関心のある問題解決に取り組む。そして、各グループで課題を設定し、課題解決のために個人で調べる活動を取り入れた。

④ 協働学習

各グループで課題を設定したことを他の児童とも共有することで、多面的・多角的に環境問題の解決に取り組むことをねらいとして、各グループの課題を調べる活動（エキスパート活動）をした後、それぞれの課題において調べたことをグループ間で情報交換をする活動（ジグソー活動）を取り入れ、元のグループでそれぞれが他のグループから得た情報を共有する活動（クロストーク活動）を行う。

⑤ N I E新聞教室の活用

国語科「みんなで新聞をつくろう」で、学習したことに加えて、N I E新聞教室で書き方やまとめ方を学習する。社会科でも、N I E新聞教室で、1回目は「火事からくらしを守る」「事故や事件からくらしを守る」で新聞のまとめ方を指導していただき、2回目にはより伝わりやすくするために、その新聞についてのアドバイスをしていただく。そこでの学びを、総合的な学習の時間での、調べたり、他のグループから得たりした情報を整理・分析して各自が新聞にまとめる際に生かす。

5 単元計画 全 20 時間（本時 19 / 20）

		めあて・主な学習活動	☆評価規準（観点）【方法】	学校図書館活用教育
課題設定	①	江津市の環境って、どうなっているのだろうか。 ○1学期の江の川河口の調査を振り返り、江津市の環境について整理する。	☆調査結果をもとに、課題を設定することができる。【発言・ネームプレート】	★課題設定力 ・学習課題の設定（思考ツール） ★学習計画 ・学習計画の立て方を知る。 ・情報源の種類と特性を知り、選択
	②	江津市の環境をもっとよくするために、どうしたらいいのだろうか。 ○課題設定をする。	☆調査や生活の振り返りから、課題を設定することができる。【思考ツール・発言】	
	③	どうやって課題解決をしたらいいのだろうか。 ○課題解決に向けて、解決方法を考える。	☆課題解決の見通しを考えることができる。【発言・話し合い】	
情報収集	④ ～ ⑩	課題解決のためにくわしく調べよう。 ○図書資料、インターネット等を用いてくわしく調べる。 ○社会科「水はどこから」「ごみのゆくえ」の学習や見学で得た情報も活用する。	☆情報を集めることができる。【資料・行動観察】	★情報収集力 ・情報カード ・資料の収集 ・インターネット ・見学（社会：浄水場、クリーンセンター）
整理・分析	⑪	どの情報が必要だろうか。 ○集めた情報を他のグループと共有する。	☆集めた情報から必要なものを選択することができる。【話し合い・ワークシート】	★情報整理・分析力 ・情報カード ・資料の選択
まとめ・表現	⑫	調べたことを新聞にまとめよう。 ○調べたことを新聞にまとめる。	☆整理・分析した情報を国語やNIE新聞教室で学んだことを生かしながら新聞にまとめることができる。【新聞】	★まとめ・表現力 ・情報カード ・NIE新聞教室 ・国語の教科書・ノート
課題設定	⑬	自分たちが考えたことを発信するには、どうしたらよいだろうか。 ○調べてまとめた結果から、自分たちができることを提案するための方法を考える。	☆発信する方法を考えることができる。	★課題設定力 ・プレゼン

情報整理・分析	⑭ ～ ⑮	<p>分かりやすく伝える準備をしよう。</p> <p>○各グループで伝えるべき情報や提案を整理する。</p> <p>○より伝えやすい方法を考え、発表する準備をする。</p> <p>○予想される質問に対応するための準備をする。</p>	<p>☆伝えるべき情報を整理・分析したり、自分たちの提案をまとめたりすることができる。【話し合い・作業】</p>	<p>★情報収集力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プレゼン ・インターネット ・図書 ・情報カード
まとめ・表現	⑲	<p>江津の環境をより良くするための発表会を開こう。</p> <p>○プレゼンをする。</p>	<p>☆発表会で、自分たちの考えを伝えることができる。【発表】</p>	<p>★まとめ・表現力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ルーブリック
	⑳	<p>振り返りをしよう。</p> <p>○発表を終えて、今後の自分たちの生活に生かせる方法を考える。</p> <p>○新たな課題を見つける。</p>	<p>☆今後の生活で何ができるかを理解し、実践しようとしたり、新たな課題を見つけ解決しようとしたりすることができる。【発表・振り返り】</p>	<p>★課題設定力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・

6 本時の活動

(1) 目標

- 自分たちが調べたことやそこから導き出した提案を分かりやすく伝えることができる。
(思考力・判断力・表現力)

(2) 展開

時	学習活動・予想される児童の反応	・教師の支援 ☆評価規準
0	1 めあての確認をする。 江津市の環境をより良くするための提案発表をしよう。	<p>・事前に発表順、発表会の流れを知らせておく。</p> <p>・ゲストティーチャーをしようかいする。</p> <p>・各班の発表物の準備をしておく。</p> <p>☆江津市の環境をよくするための提案を、根拠にもとづいて分かりやすく発表することができる。(思考力・判断力・表現力)</p>
3	2 発表をする。 ・へえ、そうなんだ。 ・よくわからないなあ。(質問しよう。) ・なるほど、それならできそうだ。 ・自分たちが調べたことと違うなあ。 ・自分なら違う方法を考えるけどなあ。	
40	3 ゲストティーチャーの感想を聞く。	
		・事前に打ち合わせをしておく。

(3) 研究の視点

- 事前に準備してきた工夫は、分かりやすい発表をするために有効であったか。
- 友だちの質問やゲストティーチャーの話は、今後の課題を見つけたり、生活に生かそうとしたりするための深い学びにつながっていたか。